

コンテンツ

1 代表メッセージ

2 特別鼎談

オイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役社長 高島 宏平様
READYFOR株式会社 創業者兼代表取締役CEO 米良 はるか様を迎えて



4 追悼 牛尾 治朗様を偲んで



6 理念と活動



8 2023活動ハイライト

パリ・サン＝ジェルマンハンドボールジャパンツアー 2023 親善交流イベント
女子中高生のためのキャリアセミナー 先輩にきく！リケジョの道
HACK TO THE FUTURE 2024 for Youth
宇宙エレベーターロボット競技会
webで学ぼう！
地域創生セミナー 2023
イノベーションワークショップ 2023



12 文部科学省 「青少年の体験活動推進企業表彰」受賞と その後の取組み



14 F I F の活動とSDGs

16 プレスクリッピング

登壇者の所属・役職はイベント開催時のものです

代表メッセージ

1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全と、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

フューチャー イノベーション フォーラム(F I F)は、「イノベーションで人と社会を豊かに」というコンセプトのもと、人びとが組織の枠組みを越えて協力し、広く社会の発展に貢献することを目指して、2006年1月に設立しました。経営層や次世代リーダーの皆様がイノベーションの活路を見出すべく世界の潮流や共通のビジネス課題を議論する場をはじめ、子どもたちが自ら課題を見つけ解決していくためのキャリア教育やコンピューティング教育の場を提供してきました。活動に参加いただいた方々はのべ7,700名を超え、総貢献時間は12万1千時間以上となりました。設立以来、着実に活動を積み重ねてこられましたのも、ひとえに皆様のご厚情の賜物と心より御礼申し上げます。

日々急速に進化するテクノロジーとともに世の中も不可逆的に変化しています。いま、世界的に注目されているChatGPTなどの生成AIは、誰もが容易に使えるAIとして人類に大きな発展をもたらす可能性を秘めています。様々な社会課題が顕在化するなか予測困難な時代を生き抜くためには、こうした新たな技術やアイデアを社会実装することが求められます。私たち一人ひとりがリスクを恐れずチャレンジを続ける覚悟を持ち、非連続的に成長していくことが社会の発展へとつながります。

ESG、SDGsなど「サステナビリティ」はいまや世界の重要アジェンダです。私たちF I Fも活力ある持続可能な社会の実現に向け、組織を越えたさらなる協業を行うとともに、オープンイノベティブな場を提供することで、日本が変革を起こすための土壌づくりに取り組んでまいります。これからも会員の皆様をはじめ、趣旨に賛同してくださる企業、各種団体の方々とともに、一人ひとりが輝く社会を目指して活動してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



フューチャー イノベーション フォーラム代表
フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長

米良 是文

特別鼎談

F I F 代表による毎年恒例の特別鼎談。今回はオイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役社長 高島宏平様、READYFOR株式会社 創業者兼代表取締役CEO 米良はるか様を迎え、起業家としての社会課題への取り組みや、それらをつづじて感じたこと、若い世代に伝えたいことについて伺いました。



起業家が取り組む 社会課題解決

金丸 お二人は2023年を振り返っていかがですか。

高島 事業そのものの成長と、事業以外のアプローチにも戦略的に時間をかけた一年でした。副代表幹事を務める経済同友会での活動にも力を入れ、7月に締結した「インパクトスタートアップ協会、新公益連盟及び経済同友会の協働に関する連携協定」では、ボードメンバーとして米良さんと運営を進めています。共助型社会を目指して大企業とスタートアップ等が連携し、国内外の様々な社会課題を解決することを目的とした活動ですが、アクションの一つひとつ増やして成功例を作っていくための実績づくりに注力しました。

米良 2023年は、非営利セクターや代表理事を務めるインパクトスタートアップ協会との取り組みを通じて「資本主義では解決できない課題解決のためのお金の流れを作る会社でありたい」という自社の事業への思いを新たにしました。社会課題の解決に向けて制度や社会を変えるには、どういう順番で何をすればいいのかをステークホルダーとともにかたちにしていきました。

高島さんと一緒にいる同友会との取り組みもその一つで、いろいろな人がそれぞれの分野で課題を解決しようと前進していくのが感じられた面白い一年でした。

金丸 私はハンドボールのパリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー

招聘に携わり、日本ハンドボール協会の会長に就任するなど、スポーツに縁が深い一年になりました。個人的にはなんとといっても、38年ぶりの阪神タイガース優勝。優勝の瞬間を京セラドーム大阪で見届けたのですが、実は38年前の優勝決定戦も西武球場で観ていて、その巡り合わせに感動しました。

創造に向けた 「破壊」の2023年

米良 2023年は政治やスポーツ、文化、芸能にわたり、これまでよとされてきたことが壊れ、目を向けられてこなかった様々な問題があぶり出される一年だったように感じます。

高島 “平成は昭和の維持、令和は昭和の破壊”という印象があります。皆が疑問に思っていたはずなのになんとなくそのままにされてきたことや、ビジネスモデルも含めた古い仕組みが破壊されてきている。政治の世界では「派閥」という組織が、国のガバナンスまで握っているという問題が浮き彫りになっています。民主主義の維持にはお金がかかることを認識したうえで、シンプルなお金の流れを可視化すればいい。

金丸 アメリカをはじめ欧米の民主主義国では、政党の支持者は党にコミットして資金も拠出します。しかし、日本はこれまで海外を模倣するだけで、自ら民主主義や法律をデザインしてこなかったため、そうした価値観がありません。

高島 いまは政治でもビジネスでも、模倣ではなく自ら創造するときがきていると感じています。日本は政権が安定していて暴

動もないので、海外からは民主主義の成功と言われることもあります。でも実際には社会主義的なところもあるし、格差社会というより、むしろ全体が貧しい国になってきているのではないのでしょうか。

金丸 皆が行動を起こさずチャンスを逃してきた結果、国全体に力がみなぎっていない状態です。このまま社会を進化させるチャンスを逃し続けていけば、後退するのみです。世界は新しい考え方や技術をいかに社会実装するかという競争になっているのに、日本ではそれが規制によって進まなかったり、ビジネスで新しいマーケットを生みだそうとしても既得権に阻まれたりする。ただ、法律、技術、利便性など様々な論点から検討すれば、必ず突破口があると思います。

米良 私はサンフランシスコで完全自動運転のタクシーを利用したことがあるのですが、運転がスムーズで快適なことに驚きました。乗るまでは少し不安でしたが、車載カメラやディスプレイ表示など安心できる対策が考えられていました。日本ではすぐには実現しないかもしれないけど、自動運転をトラック配送などに活用すれば2024年問題の対策になるのでは、などいろいろな可能性を考える機会になりました。



“政治語”と“経済語”の 両方で語れる人材へ

金丸 2023年は古い仕組みの“膿”が一気に出てきました。2024年は、再設計の年になればと考えています。政治でもビジネスの世界でもグローバルを意識できて、世の中をより良くしたいという気概を持った若い人たちがどんどん出てきてほしい。そういう若い世代にとって、変革期のいまはまさにチャンスの時代です。ところで、私が起業した頃は資金集めに苦労しましたが、いまの環境はどうですか。

米良 起業することへのリスクは、昔に比べて少ないと思います。10年前は口座を作るのも物件を借りるのも大変でしたが、いまは資金もエクイティファイナンスで集められるし、銀行からの借り入

れもしやすくなりました。若いうちに起業することが普通の選択肢になったと感じます。

金丸 就職先を選ぶのと同じように、起業という選択肢があってもいい。実際に成功するのは1,000人に3人くらいかもしれませんが、あとの997人の挑戦や失敗が讃えられる社会になってほしいと思います。

米良 スタートアップの経営者も社会課題解決に向き合うことで、規制の問題などに関心を持つ方が増えてくると思いますが、高島さんは団体の活動で若い人が立案する機会を積極的に作られていますよね。

高島 いろいろな団体で若い起業家の方々と一緒にしますが、皆さん、政策や課題解決への提言が本当に上手くて驚きます。

米良 私は官僚の方々とも仕事をしていますが、皆さん優秀で、長く制度を見てこられた強みがあります。民間と政治、官僚が連携するともっと動きやすくなるのではないのでしょうか。そういう関わり方も起業家同士で情報共有していきたいですね。

高島 これからは“政治語”と“経済語”の両方を使うことが大事です。若い世代に政治・経済のバイリンガルが増えることで、社会の成長や変革のスピード感が全く変わってくると思います。

金丸 ただし、起業家は良い提言を持っていても、自社の成長がなければ誰にも相手にしてもらえません。まずは事業を右肩上がりにする、谷があっても復活する力を持つことが基本です。

高島 結果を出してこそという点では、起業家はプロスポーツ選手に近いですね。最近、様々な課題解決に取り組むなかで、理論的かつ学術的な立て付けがないと難しい領域があることを実感しています。今後は学者の方々と連携を強めて、産官学民で社会変革に参画する人を増やしていければと考えています。

金丸 高島さん、米良さんのような起業家の皆さんには、自分たちがキープレーヤーだという自覚を持ち、新しい時代をぜひリードしていただきたい。2024年はリスタートの年です。日本の再設計に向けて、ともに協力しながらより良い社会を築いていきましょう。

(文中敬称略)



追悼 牛尾 治朗様を偲んで

日本の経済界を牽引されてきたウシオ電機創業者の牛尾治朗様が、2023年6月13日にご逝去されました。

F I Fは牛尾様を発起人として発足し、以来アドバイザリーボードミーティングなど様々な機会をつうじてご助言をいただきながら活動を続けてまいりました。新春恒例の特別鼎談には2019年まで毎年ご参加いただき、変革の時代に求められるリーダー像や日本の未来についてお話しいただきました。鼎談の場で語り合った現アドバイザリーボードメンバーの皆様よりコメントをお寄せいただき、牛尾様との思い出を振り返ります。



2014年撮影

「社会への良い働きかけは必ず良い仕事となって返ってくる」

というご助言はFIFの原点となりました。

示唆に富むたくさんのお言葉をありがとうございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。



2009年号鼎談会場にて

——最近の経営者を見ると、セルフ・インタレスト(自己利益)が強すぎるように思います。もっと社会に目を向け、いかに社会と共生していくかを意識してほしいです。



2010年号鼎談会場にて

——日本はいま変化の過渡期にあります。古い価値観で見れば悲劇に思えるかもしれませんが、別の見方をすれば新たな可能性が拓けてきます。

新浪 剛史

サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長

「視座をもっと高く」。経済同友会にお誘いいただいたとき、牛尾さんにかけていただいた言葉が忘れられません。その後も折に触れて警咳に接し、私自身が会社を移る転機にあっても厳しくも温かな言葉で背中を押していただきました。日本はいま、失われた30年とも呼ばれた停滞をようやく抜けて、まさに牛尾さんが求めてやまなかった闊達な民の活力が求められる時代を迎えようとしています。ご遺志を継いで、その未来を掴み取るべく努めます。心よりのお悔やみを申し上げます。

明石 勝也

聖マリアンナ医科大学 理事長

F I Fをきっかけに親しくさせていただきました。自分は医学・医療以外には浅学菲才ですが、お会いするたびに青年のような眼差しで、常に世界を視野に語られる碩学のお話には胸がときめき、勇気を分けていただいていたように思います。多くの刺激を受けて、医療界では疎んじられてきたinnovationに挑戦し続けております。碩学には遠く及びませんが、ここでも牛尾イズムを継承させていきたいと思っております。安らかにお見守りください。

ありがとうございました。



2012年号鼎談会場にて

——もっと若者の声に耳を傾け、意思を尊重しようではありませんか。若い人たちが未来に希望を持てる社会を実現しなければなりません。



2019年号鼎談会場にて

——若い人たちには自分たちの歴史をはじめもっと自国に関心を持ち、いいところを世界に広めてほしいですね。



2020年撮影

過去の鼎談はFIF REPORTバックナンバーでご覧いただけます。 www.fif.jp/about/report

三木谷 浩史

楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長

牛尾さんには、楽天野球団設立時にアドバイザリーボードメンバーになっていただいたご縁をはじめ、新春のF I F特別鼎談でも日本の国際競争力強化についてお話させていただきました。そのほかにも、様々な機会に深い洞察力でご指導くださったことが心に残っております。

グローバル社会で日本企業が勝ち抜いていくための戦略だけでなく、世界で通用する人材の育成にも目を向けられ、若い人が希望を持てる日本にしていけるために並々ならぬご尽力をされた方でした。

牛尾さんのご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

片野坂 真哉

ANAホールディングス株式会社 代表取締役会長

ANAグループは、牛尾治朗様に、2001年から17年にわたり、経営諮問委員会の委員長を務めていただき、私まで4代にわたる社長が、様々な角度から経営戦略のアドバイスをいただきました。

その視点は、常に日本のあるべき姿、企業経営者の取るべき行動に立脚しており、なかでも、私が思い出深いのは「ANAの名前では世界に通用しないよ。アジアジャパンエアーが良い。東京オリパラまでに、売上3兆円を目指すべきだ」というものです。F I F鼎談のときにも、日本から世界の未来に貢献しなさいと次世代への期待を力強く語っていただきました。心より哀悼の意を表します。

金丸 恭文

フューチャー イノベーション フォーラム 代表
フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長

牛尾さんとの出会いは私がまだ会社員の頃です。講演で国際社会や日本の未来を語られる堂々とした姿を拝見し、昔ながらの「社長」のイメージが吹き飛びました。牛尾さんは経済界のオピニオンリーダーとして日本と企業のあるべき姿を追求し続け、技術革新こそが時代を動かす力になると、常に未来に関心を持たれていました。教養豊かで、ユーモアを交えながらアドバイスをくださる牛尾さんに、多くの起業家が薫陶を受けています。困難な課題があっても解決さえすればいいと、必ず笑顔で場を締める姿は忘れられません。「ITの先駆者として長期的視点でいろいろな活動を続けていくことが大切」というお言葉はF I F活動の礎となっています。長い間、本当にありがとうございました。

理念と活動

イノベーションで人と社会を豊かに

フューチャー イノベーション フォーラム(F I F)は、「イノベーションで人と社会を豊かに」という理念のもと、企業が互いに協力しながら広く社会の発展に貢献し、変革をもたらしていくことを目指して、2006年1月に設立した社会貢献団体です。

活動の趣旨に賛同いただいている参画企業数は2023年12月末時点で約800社にのぼります。フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長 金丸恭文が代表を務め、日本を代表する経営者や知識人など13名のアドバイザーボードメンバーに助言をいただきながら、フューチャー株式会社(本社:東京都品川区)が運営しています。設立以来、様々な企業の次世代リーダーが相互研鑽する場や、未来を担う子どもたちが将来の夢を描ききっかけとなる場を提供しています。多くの企業をはじめ、学校や各種団体と協力・連携し、組織の枠組みを越えて広くつながるオープンイノベティブな活動を行っています。また、様々な取り組みをつうじて国際社会共通の目標、SDGs達成への貢献を目指しています。



アドバイザーボードミーティングにて(2023年6月)

アドバイザーボードメンバー

明石 勝也	聖マリアンナ医科大学 理事長	新浪 剛史	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長
片野坂 真哉	A N A ホールディングス株式会社 代表取締役会長	増田 宗昭	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 代表取締役会長兼CEO
金丸 恭文	フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長	松尾 豊	東京大学大学院 工学系研究科 教授 技術経営戦略学専攻 専攻長
小林 琢磨	オルビス株式会社 代表取締役社長	三木谷 浩史	楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長
高島 宏平	オイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役社長	米良 はるか	READYFOR株式会社 創業者兼代表取締役CEO
田中 仁	株式会社ジズホールディングス 代表取締役CEO	柳川 範之	東京大学大学院 経済学研究科・経済学部 教授
中西 勝則	株式会社しずおかフィナンシャルグループ 代表取締役会長		

2024年2月29日現在 敬称略 氏名50音順

コンセプト

F I Fには、社会人を対象とした「Member Companies Lab」と、子どもたちを対象とした「Kids Innovation Lab」の2つの活動があります。

Member Companies Lab

次世代リーダーが相互研鑽し
日本の未来に活力をもたらす

セミナー ワークショップ

企業の経営層や次世代リーダーに向けて「業種・業界の枠組みを越えた相互研鑽」をコンセプトに、セミナーやワークショップの場を提供しています。「DX」「地域創生」「人材戦略」「ESG、SDGs」「デジタル通貨」など、世界の時流を捉えたテーマを取り上げ、第一線で活躍するゲストを交え、テクノロジーを活用した変革の実現に向けて議論を重ねています。

Kids Innovation Lab

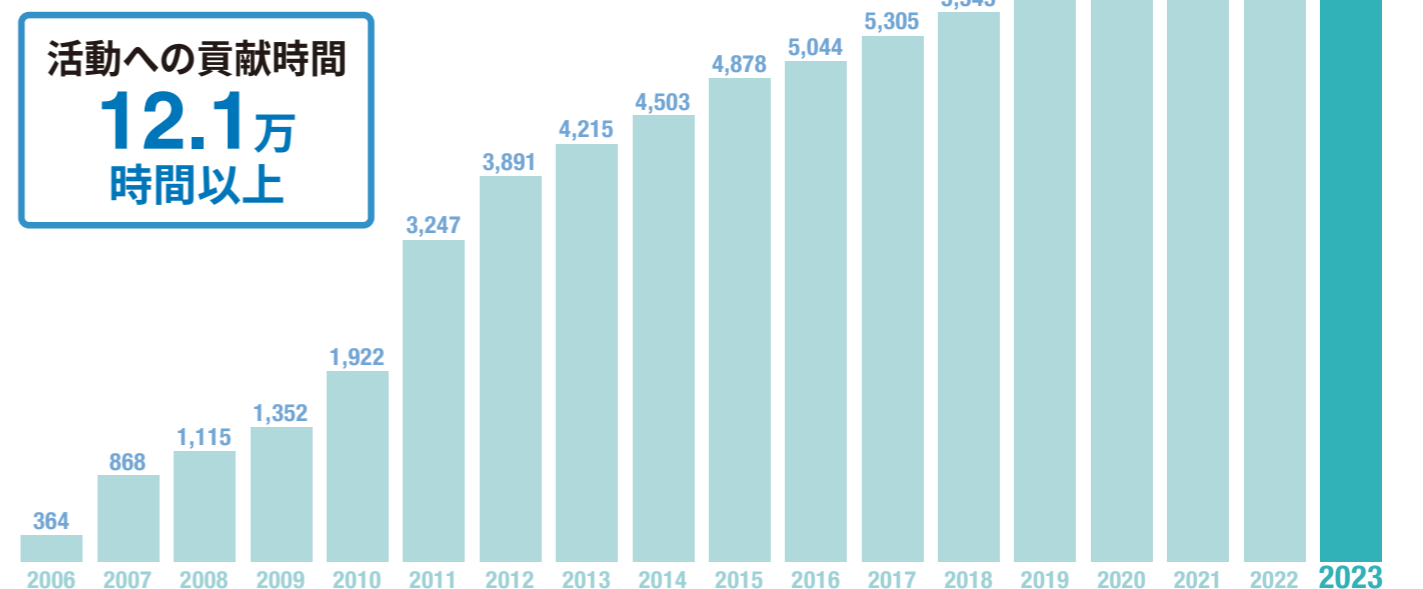
未来を担う子どもたちの
夢・可能性を広げる

ソーシャル コンピューティング

社会課題解決型のキャリア教育(ソーシャル)やコンピューティング教育を企画・運営しています。子どもたちが体験をつうじて社会に関心を持ち、最先端のテクノロジーに触れることで、社会をデザインするためのイノベティブな力を養う場です。専門家と直接コミュニケーションが取れるオリジナルプログラムを提供し、未来を担う子どもたちの夢・可能性を広げることを目指しています。

参加者数の推移

2006年の設立以来、多くの皆様に参加いただき、累計参加者数は7,700名を超えました。



2023活動ハイライト

Kids Innovation Lab

F I Fでは幅広い年齢の子どもたちに向けて、自ら課題を見つけ解決していくためのキャリア教育や、コンピューティング教育の機会を提供しています。2023年は、子どもたち一人ひとりの可能性を広げることを目指して、オンサイトでの国際親善イベントとオンラインでのキャリアセミナーを開催し、多くの子どもたちや保護者の方々に参加いただきました。

パリ・サン＝ジェルマン (PSG) ハンドボールジャパンツアー 2023 親善交流イベント

7月30日開催

スポーツをつうじた国際交流を目的に、フランスの国内リーグで9連覇中の強豪ハンドボールチームPSGの選手たちが獨協中学校・獨協高等学校を訪問し、ハンドボール部員32名にデモプレーや実技指導などを行いました。世界最高峰の選手たちによる迫力あるプレーを目の当たりにした生徒たちからは大きな歓声があがり、指導の場面では互いにジェスチャーを交えながら懸命にコミュニケーションをとり、言葉の壁を越えた交流が育まれました。プログラム冒頭では、在日フランス商工会議所のニコラ・ボナルデル事務局長による「フランス文化を知る講義」が行われ、フランスの歴史や文化についても学びました。



詳細はこちら



女子中高生のためのキャリアセミナー 先輩にきく！リケジョの道

ONLINE 11月21日開催

理系分野の進学や理系の仕事に興味がある女子中高生を対象に、初のキャリア教育イベントを開催しました。企業や大学研究室の理系分野で活躍する女性4人が登壇し、子どものときにどのような考えで進路を決め、現在どのような仕事をしているのかを語りました。全国各地から多くの参加があり、ライブ配信では「大学を選んだ際のポイントは？」「研究テーマはどのように決めていますか？」「勉強したい分野と将来就きたい職にギャップがある場合、どのように選べばいいですか？」など時間内では答えきれないほど質問が寄せられました。イベント終了後は「様々な分野で活躍している方のお話が聞けて良かったです」「理系が得意でなくても理系に行く選択をしたというお話が印象的でした」といった感想が寄せられました。



詳細はこちら



競技プログラミングコンテスト HACK TO THE FUTURE 2024 for Youth

ONLINE 12月1日～10日開催

フューチャーが主催するプログラミングコンテスト「HACK TO THE FUTURE」のなかで、18歳以下のユースを対象に2019年から開催している企画です。10日間(240時間)をかけて1つの問題に対して要件を満たすプログラムを作成し、取得したスコアの高さを競います。全国各地から参加があり、ユース部門では16名を表彰しました。大会の最後には、オンラインで解説生配信が行われ、チャットやSNSで感想の投稿や意見交換が活発に行われました。



宇宙エレベーターロボット競技会

協カイベント

11月23日開催 主催：宇宙エレベーターロボット競技会実行委員会

F I Fは、STEAM教育、プログラミング教育の先駆的な取り組みである「宇宙エレベーターロボット競技会」の活動に2015年から協力しています。今年も予選を勝ち抜いた41チーム137名が全国大会に参戦。工夫を凝らした自作の宇宙エレベーターロボットで、物資に見立てたピンポン球をいかに効率よく運搬するかを競いました。2019年以来となる有観客での開催が実現し、選手たちは多くの声援を受けながら熱戦を繰り広げました。

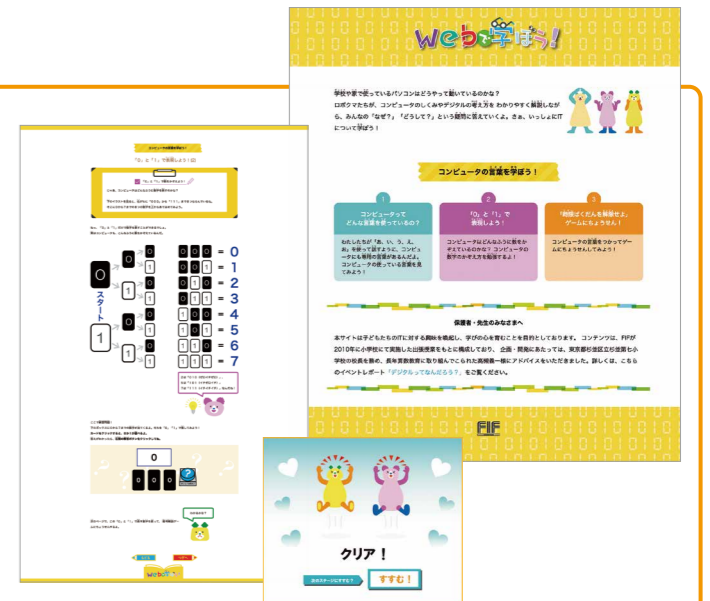


web コンテンツ

webで学ぼう！ リニューアル

コンピューティングの基礎である「二進数」について楽しく学べる、F I Fサイト内の学習コンテンツ「webで学ぼう！」をリニューアルしました。F I Fオリジナルキャラクター「ロボクマとなかまたち」をガイド役に、かき氷のトッピングを選ぶゲームや、制限時間内に暗証番号を導き出す「爆弾解除ゲーム」に挑戦しながら「二進数(n進法)」の考え方を学習できます。ぜひアクセスしてください。

www.fif.jp/kids/manabo/



Member Companies Lab

F I Fでは企業の経営層や次世代リーダーが集い、業種・業界の枠組みを越えて議論する相互研鑽の場を提供しています。2023年は地域における価値創造をテーマとしたウェビナー第2弾を実施したほか、4年ぶりにオンサイトで開催したイノベーションワークショップでは多くの会員企業の皆様とともに、DXを軸とした戦略や事例について深く幅広い議論を行いました。

地域創生セミナー 2023 世界に届け！地域の取組み～フードビジネスにおけるDX

ONLINE 10月26日開催

「地域創生」をテーマに、2021年に続いて第2弾となるウェビナーを開催しました。今回は、農業や食分野においてテクノロジーを活用し、地域を元気にする取組みや地域から世界に発信する取組みを推進されているお二方に登壇いただき、地域創生に必要なイノベーションとは何か、地域の魅力を見出す上で重要なポイントは何かについて参加者とともに議論しました。



プログラム

講演

農業はイノベーションの宝庫

株式会社エムスクエア・ラボ／やさいバス株式会社
代表取締役 加藤 百合子



講演

海外展開とインバウンドの好循環が生まだす「フードビジネスの“ネオ・グローバル・モデル”」

日本食品海外プロモーションセンター (JFOODO)
執行役 北川 浩伸



登壇者によるパネルディスカッション

「地域力」を最大化するイノベーションとは

モデレーター：
フューチャー株式会社
取締役 グループCSO 山岡 浩巳



メッセージ

「無理なく、楽しく、おいしく」

地域・コミュニティの一員となって新しいことを始めるには、まずミッション、ビジョンを言葉にして共感してもらうことが大切です。私自身も構想を現実にする頑張りや踏ん張りを持って日本の農業を世界に展開していきたいと考えています。

「実現する“思い”がある人材を集める」

「食」のグローバル化には人材と物流が課題であると感じています。冷凍・冷蔵技術や物流手段でのイノベーションに加えて、「思い」がある人材が集まったONE TEAMでの仕組みづくりと推進が求められています。

「地域の力を最大化するために必要な“コンテンツへの愛”」

登壇者のお二方のお話を伺って、「食品」「食文化」への愛と、コンテンツに対する確固たる自信を感じました。農業や食への愛と優れたコンテンツ、そしてテクノロジーが掛け合わさることでイノベーションや戦略が生まれ、活性化していくことに期待します。

参加者の声

- ◆ 非常に苦労しながらも着実に前進されている「情熱」に感心した。他の分野にもつうじる考えを学べた。
- ◆ 視点が明確で農業、地域の課題解決へのアプローチの一つとして勉強になった。
- ◆ 生産者のひとりとして地域創生、地域課題の解決を日頃から考えている。これまで世界に向けての発信は程遠いと考えていたが、お話を聞いて、一歩踏み出せるように感じた。
- ◆ アイデア次第で活性化の可能性もあると思うことができた。いまあるものでどれだけ成長できるかという考え方も面白かった。



詳細はこちら

イノベーションワークショップ 2023 DX実現に向けた組織・人材戦略

業種や業界を越えて次世代リーダーが交流を深め相互研鑽する場として、2007年からイノベーションワークショップを実施しています。2023年は業界をリードする43社から幹部の皆様に参加いただき、日本企業が取り組むべきDX推進、AI等の新たな技術を活用したビジネスや付加価値の創出について全3回をつうじて議論・考察しました。

第1回 学識者による講演と事例紹介 7月11日開催



AI研究の第一人者 松尾豊教授より、企業経営に活かせる先端技術や、DX人材の育成・組織戦略についてご自身の研究室での事例を踏まえてお話しいただきました。第2部では個性を活かし挑戦するカルチャーの醸成と、DX人材を生み出す組織づくりの取組みを紹介しました。

第1部 講演「AI時代における日本企業のDX人材・組織戦略」

東京大学大学院 工学系研究科 教授 松尾 豊

第2部 取組みの紹介

「DX人材を生み出す組織～個性を活かし挑戦するカルチャーの醸成」

フューチャーアーキテクト株式会社 パートナー
ビジネスコンサルティンググループ 田中 裕之

第3部 意見交換・質疑応答



詳細はこちら

第2回 先進的な事例の共有 9月14日開催



S Gホールディングスグループ 谷口友彦執行役員より、経営課題をITで解決するDX戦略について講演いただきました。パネルディスカッションではIT組織・人材育成をリードする企業の皆様より、先進的な事例や、現場の当事者として見た自社のDXを語っていただきました。

第1部 講演「S GホールディングスグループにおけるDX戦略～2025年の崖を克服し、『成長戦略=デジタル戦略』へ～」

S Gホールディングス株式会社 執行役員 DX戦略担当
S Gシステム株式会社 代表取締役社長 谷口 友彦

第2部 パネルディスカッション「組織・人材戦略の実行に向けた課題」

パネリスト：谷口 友彦

株式会社 J R 東日本情報システム 取締役
Suica・駅サービスソリューション本部長 駅サービスシステム部長 吉川 真之

株式会社プリヂストーン 2025年の崖プロジェクト推進部門
ITトランスフォーメーション部 部長 太田 誠



詳細はこちら

第3回 グループディスカッション 11月7日開催



シリーズの総まとめとして、参加者同士でそれぞれ抱える課題やアクションプランについて業種・業界の垣根を越えてディスカッションしました。グループごとの発表と全体での意見交換を行い、課題解決の糸口や新たな視点について検討しました。

第1部 ディスカッション「自社DX実現のためのネクストアクション」

第2部 発表・他グループとの意見交換

モデレーター：

フューチャー イノベーションフォーラム 実行委員長
フューチャーアーキテクト株式会社 パートナー 秋山 励

第3部 講演「技術革新とDX」

フューチャー株式会社 取締役CTO 齋藤 洋平



詳細はこちら

文部科学省 「青少年の体験活動推進企業表彰」受賞と その後の取り組み



FIFのKids Innovation Labは、文部科学省が主催する「青少年の体験活動推進企業表彰」において過去4回連続で受賞しました。受賞事業それぞれのテーマ性や、ITという一見難しそうなおもしろいテーマを子どもたちが興味を持ちやすいスポーツ等の分野と結びつけた点などが評価されました。

令和四年度 審査委員会優秀賞

Future×Zeekstar 1DAYボールアカデミー

現役プロ選手から教わる「IT×ハンドボール体験教室」 2021年7月10日開催

1. ダンスをしながらプログラミングの考え方を学ぼう
2. プロ選手と一緒にボールに親しみ思いきり身体を動かそう
3. ITやデータがスポーツにどのように活かされているかを知ろう



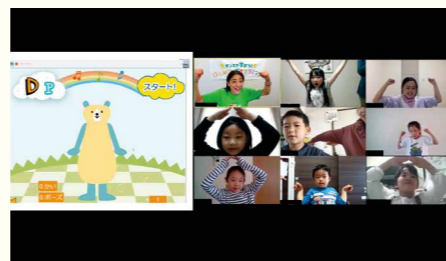
Pick up
詳しくはP13へ

令和三年度 審査委員会奨励賞

ダンスで学ぼう! はじめてのプログラミング

全国から小学生16名がオンラインで参加! 2021年3月27日開催

1. プログラミングってなに?
2. 「ロボクマ」と一緒にダンスをしよう!
3. プログラミングで自分だけのダンスを作ろう!
4. 作品発表とまとめ



令和二年度 審査委員会奨励賞

VRでパラスポーツの世界を体験しよう!

みんなで共生社会を考えよう 2019年12月16日開催

1. パラスポーツやブラインドサッカー、VRの学習
2. VRでブラインドサッカーを体験
3. チームディスカッション
4. チーム対抗タイムレース



Pick up
詳しくはP13へ

令和元年度 審査委員会優秀賞

スポーツハッカソン

中高生がARプログラミングに挑戦! 2018年8月7日開催

1. ARプログラミングの学習
2. スポーツイベントをテーマにアイデア発想ワーク
3. チームごとにAR実装、発表
4. 表彰式、トークセッション



その後の取り組み

FIFではAR、VR、アルゴリズムの学習など、時代に合った新しい技術を取り入れてプログラムを企画してきました。受賞事業はその後にもキャリア教育の視点を加えるなどブラッシュアップを重ね、より学びのあるイベントへと進化しています。

2021年開催の企画がパワーアップ!

Future×Zeekstar 1DAYボールアカデミー 2022 2022年10月9日開催



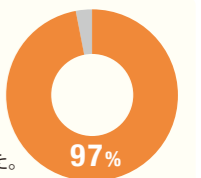
1. プロハンドボールチームの選手の指導でハンドボールを体験しよう
2. プロチームを支えるアナリストからスポーツに活用されるITについて学ぼう
3. プロハンドボールチームに関わる様々な職種の人の話を聞こう

審査委員会優秀賞を受賞した「Future×Zeekstar 1DAYボールアカデミー 2021」は、「スポーツ体験」と「IT学習」を掛け合わせた企画として開催しました。翌年に開催した本イベントでは、チームワークの重要性についての学びと、キャリア教育の視点を加えています。現役プロ選手の指導のもとハンドボールを体験するのはもちろん、選手だけでなくコーチや運営会社代表などにインタビューする時間を設けたことで、チームが様々な人の力で成り立っていること、また「好きなこと」から将来を考え「挑戦」することの楽しさを実感してもらう機会となりました。



参加者の声 97%の参加者が楽しかったと回答

- はじめてやったけれど、今後も習ってみたいくなるほど面白かった。
- 選手に教えてもらったことを早速試合でやってみようと思う。
- 自分に自信を持って好きなことをやってほしいと言われ勇気がもたらえた。



2019年開催の企画が各地の出張イベントで盛況! 広がるパラスポーツの世界

「ブラインドサッカー」をバーチャル・リアリティ (VR) で体験できるアプリは、ITを活用した共生社会の実現を願う有志の社員により開発されました。2019年に開催した「VRでパラスポーツの世界を体験しよう!」は審査委員会奨励賞を受賞。その後、より多くの人に届ける取り組みを続けています。「ジークスター東京×パラスポーツデー」(2022年11月)への出展、フューチャー株式会社で開催した高校生向けの職業体験授業(2023年6月)や、北海道・函館「はこだてみらい館」での「Future Sports EXPO 2023-2024」(2023年12月~2024年1月)への出展協力など、各種イベントでVRブラインドサッカーを体験できる機会を提供しています。



「ジークスター東京×パラスポーツデー」出展の様子

F I F の活動とSDGs

SDGs (持続可能な開発目標) への貢献を目指して

F I F は設立以来、築いてきたネットワークやノウハウを活かし、様々な取り組みをつうじて国際社会共通の目標、SDGs達成への貢献を目指しており、17の目標のなかでも次の5つのゴールとそれに紐づくターゲットに向けて活動を推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 質の高い教育をみんなに

TARGET 4.4 働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす

これからの時代はいま以上に自ら課題を見つけ、仲間と協力して解決策を見出す力が求められます。Kids Innovation Labでは、未就学児から大学生まで、幅広い年代に向けて様々なプログラムを実施しています。2023年はフランスのパリ・サン＝ジェルマン ハンドボールの選手たちによる実技指導と在日フランス商工会議所が実施する講義を組み合わせた国際親善イベントや、高度なプログラミングスキルを持った人材発掘を目的とした競技プログラミングコンテスト「HACK TO THE FUTURE 2024」を開催しました。



5 ジェンダー平等を実現しよう

TARGET 5.5 政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する

日本経済の持続的な成長に向けて、女性の理系人材育成は重要な社会課題であると捉えています。2023年は企業や大学研究室の理系分野で活躍する女性を講師に招いた女子中高生向けキャリア教育イベントを実施しました。さらに参加者や保護者の皆様からの熱い反響を受け、イベント開催時にいただいた質問や相談に対する講師のメッセージを「続編」としてウェブに公開しています。F I Fでは今後も理系分野を目指す女子学生の学びを応援する企画に取り組みます。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

TARGET 9.5 産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる

Member Companies Labでは、様々な業種・業界の経営者、次世代リーダーが世界の潮流や最新技術の動向を知り、共通のビジネス課題を議論するオープンイノベーションの場を設けています。2023年はコロナ禍を経て4年ぶりにオンサイトでのワークショップを開催し、DXと人材・組織をテーマに活発に議論しました。Kids Innovation Labでは子どもたちが早くから自身の将来を考え、社会をデザインする力を養う場を提供するべく、経営層との対話や最新技術に触れる独自のプログラムを実施しています。こうした活動により文部科学省が主催する「青少年の体験活動推進企業表彰」にて2019年から4年連続で表彰されています。



10 人や国の不平等をなくそう

TARGET 10.2 すべての人の能力を強化し、社会・経済・政治への関わりを促進する

Kids Innovation Labではフューチャー株式会社の社員が有志で開発したVRアプリを使って、2016年よりITを活用したパラスポーツ体験の場を提供しています。VRブラインドサッカーのバーチャル体験会や小学校での出張授業、イベントへの出展協力を行うなど、共生社会の実現に向けて考え、学ぶ機会を創出しています。



17 パートナーシップで目標を達成しよう

TARGET 17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する

F I Fの活動は企業、行政、学校など様々なステークホルダーの協力が不可欠です。Member Companies Labでは産官学民の連携やパートナーシップの在り方について有識者を交えて定期的に議論しており、2023年はDXと食・フードビジネスのグローバル展開をテーマにセミナーを開催しました。Kids Innovation Labでは他企業や学校と協力し、子どもたちにとって貴重な学びと体験の場となるプログラムを作り上げています。

地域創生セミナー2023 世界に届け!地域の取組み フードビジネスにおけるDX



プレスクリッピング

新聞や雑誌、WEBニュースなどのメディアで紹介されました。

世界最高峰ハンドボール、 仏PSGから生徒が指導を受ける…獨協

読売新聞オンライン
2023年8月15日

<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/support/information/CO036590/20230809-OYT8T50054/>



PSG JAPAN TOUR 2023 Special Topics 中高生32名が大興奮!

月刊スポーツイベント・ハンドボール
2023年9月号(2023年8月20日発売)



Topics 3 中高生 32 名が大興奮!

7月30日には、中高生との親善交流イベントに臨んだPSG。フューチャーイノベーションフォーラムが主催して、東京にある獨協中学・高等学校ハンドボール部を訪れた。生徒たちはポジションごとにPSGの選手たちからアドバイスを受けて、選手1人ひとりに向けた書きメッセージ入りのうちわとオリジナルタオルをプレゼント。PSGからもサイン入りユニフォーム・ポストカードが贈られた。参加した生徒たちからは「インターネットで見ていた選手が優しく指導してくれて、サインや握手、直接話もできて最高の1日になった」といった感想が寄せられた。

「世界に届け! 地域の取組み ～フードビジネスにおけるDX」 地域創生オンラインセミナー、 10月26日開催

共同通信社 2023年9月19日

https://www.kyodo.co.jp/news/2023-09-19_3800407/



女子中高生対象 「先輩にきく!リケジョの道」11/21

リセマム 2023年10月11日

<https://resemom.jp/article/2023/10/11/74156.html>



公式サイト

Facebook、YouTubeでも随時情報発信中!



www.fif.jp

運営



お問い合わせ

フューチャー イノベーション フォーラム
事務局：〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
(フューチャー株式会社内)
TEL: 03-5740-5817
E-mail: forum@future.co.jp

発行:2024年3月



**FIF REPORT
2023**